

都市における木材需要の拡大事業の工事記録写真撮影の注意点について

記録写真は、工事が適切に実施されたかどうかを確認する重要な資料であり、工事途中の経過や工事終了後に隠れてしまう場所の状態を示す証拠になるものです。あらためて撮り直すこともできないことから、工事の節々で的確に写真撮影し、記録に努めてください。場合によっては、写真が不備で施工内容が確認できず、助成対象とすることができないこともあります。

これまで実施してきた助成事業では、特に工事記録の黒板なし、撮影日時、記録なしなどの不備が多く見られます。記録写真には必ず①工事名、②撮影日時、③撮影内容（部材の種類、施工場所、施工内容、表示・ラベル等撮影した写真の意図を表す記述等）④撮影位置などの情報が画面内で確認できるよう、撮影、記録、整理をお願いします。

「都市における木材需要の拡大事業」では、事業の区分ごとに必要な記録写真が異なりますので、以下の点にご注意ください。

I. 木質耐火部材等

(1) 着工日前後の施工箇所の写真

木質耐火部材等の事業区分では、結果通知書の日付以降に事業着手することとされており、当該物件の基礎工事（根伐工着手）前後の日付が確認できる写真を記録しておくことが必要です。

(2) 材料荷受け時の検収写真（検収ごと）

木質耐火部材等の事業区分では、木材に加え耐火部材等も含めて助成対象とされていることから、耐火部材、耐火被覆に使用するボード類についても検収時の記録写真を撮影してください。

(3) 助成対象となる木質耐火部材等の種類ごとの写真

木質耐火部材等の種類ごとに、部材の写真を1枚以上（木材や耐火部材の種類、燃えしろ、燃えどまり層など部材の特徴が見えるよう撮影する。）記録写真を撮影してください。

(4) 施工中の写真

木質耐火部材等の種類ごとに、施工箇所の写真を撮影してください。耐火被覆の場合は、内装仕上げ後に確認ができないことから、建物の部屋ごとに施工する箇所（壁、床、天井等）の施工前、施工中、施工後の写真を撮影し

てください。

(5) 助成に係る工事終了時の建物の全景写真

耐火に係る工事が終了した時点で建物の全景を2方向から、①工事名、②撮影日時、③木質耐火部材等の種類等、④撮影位置を記載した黒板とともに撮影した写真及び同じアングルで黒板なしで撮影した写真を記録してください。

II. JAS 構造材

(1) 荷受け検収写真

材料を現場に荷受けした際の写真を検収ごと（トラックで搬入された場合、トラックごと）に撮影してください。

(2) JAS 構造材の写真

JAS 構造材の種類ごとの写真を撮影してください。部材の写真と併せて JAS マークや表示の拡大写真も撮影願います。写し込む黒板には、JAS 構造材である旨と JAS の規格名を併記（例：「JAS 構造材（機械等級区分構造用製材）」など）してください。

(3) 施工中の写真

部材種（土台、柱、梁・桁、壁、床等）ごとに施工中の写真を撮影してください。また、全体の施工状態が確認できるように、内観の全体像が映った写真を撮影してください（複数階は階ごと。内観写真は黒板なしのものも併せて。）。

(4) 助成に係る工事終了時の建物の全景写真

建て方が終了した時点で建物の全景を2方向から、①工事名、②撮影日時、③全景写真（〇〇方向）等、④撮影位置を記載した黒板とともに撮影した写真及び同じアングルで黒板なしで撮影した写真を記録してください。

III. 内装材

(1) 荷受け検収写真

材料を現場に荷受けした際の写真を検収ごと（トラックで搬入された場合、トラックごと）に撮影してください。

(2) 内装材の写真

使用した仕上げ表面が木材である内装材の種類ごとの写真を撮影してください。JAS 製品を使用した場合は、JAS マークや表示の拡大写真も撮影願います。

ます。

(3) 施工前後の写真

施工箇所（壁、天井、床）ごとに施工前、施工中（下地材の施工状況の写真を含む。）、施工後の写真を撮影してください。また、対象箇所全体の施工状態が確認できる写真を撮影願います（部屋ごと、全体写真は黒板なしのものも併せて。）。

(4) 助成対象建物の全景写真

工事が終了した時点で建物の全景を2方向から、①工事名、②撮影日時、③全景写真（○○方向）等、④撮影位置を記載した黒板とともに撮影した写真及び同じアングルで黒板なしで撮影した写真を記録してください。

IV. 木製サッシ

（今回申請物件がありませんでしたので省略します。）